

2015 年 2 月 6 日

報道関係 各位

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

事務機械の「全世界出荷に関する 2014 年の見込み
及び 2015 年～2016 年の予測」の発表

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（会長：松崎 正年／コニカミノルタ株式会社 取締役会議長）は、この度、全世界市場を対象とした事務機械の出荷に関する見込み及び 2 年間の予測をとりまとめましたので発表致します。

なお、この出荷見込み及び予測の調査にあたっては、外部の調査機関（株式会社データ・サプライ、株式会社テクノ・システム・リサーチ）に委託し、取りまとめを行いました。

ホームページに掲載しています事務機械出荷実績（JBMA 集計）、複写機・複合機出荷統計（JBMA 集計）は、会員企業の出荷実績のみであることから、今回の予測に用いている数値（全世界メーカーによる出荷合計）とは異なりますのでご注意ください。

また、本予測数量及び金額は、事務機械本体のみを対象としています。

2014 年出荷見込み

国 内：	3, 870 億円（前年比： 97. 9%）
海 外：	14, 993 億円（前年比：107. 2%）
総出荷：	18, 862 億円（前年比：105. 1%）

2015 年予測

国 内：	3, 701 億円（前年比： 95. 6%）
海 外：	14, 904 億円（前年比： 99. 4%）
総出荷：	18, 605 億円（前年比： 98. 6%）

2016 年予測

国 内：	3, 579 億円（前年比： 96. 7%）
海 外：	14, 830 億円（前年比： 99. 5%）
総出荷：	18, 410 億円（前年比： 98. 9%）

<注釈>

*本資料の内容は、2014年12月時点における2014年実績見込みと2015年以降の予測に基づいている。

*2015年以降の為替レート前提は、2014年の実効レートと同等、とした。

*「複写機・複合機」および「MFP」の対象製品は電子写真方式のみ。

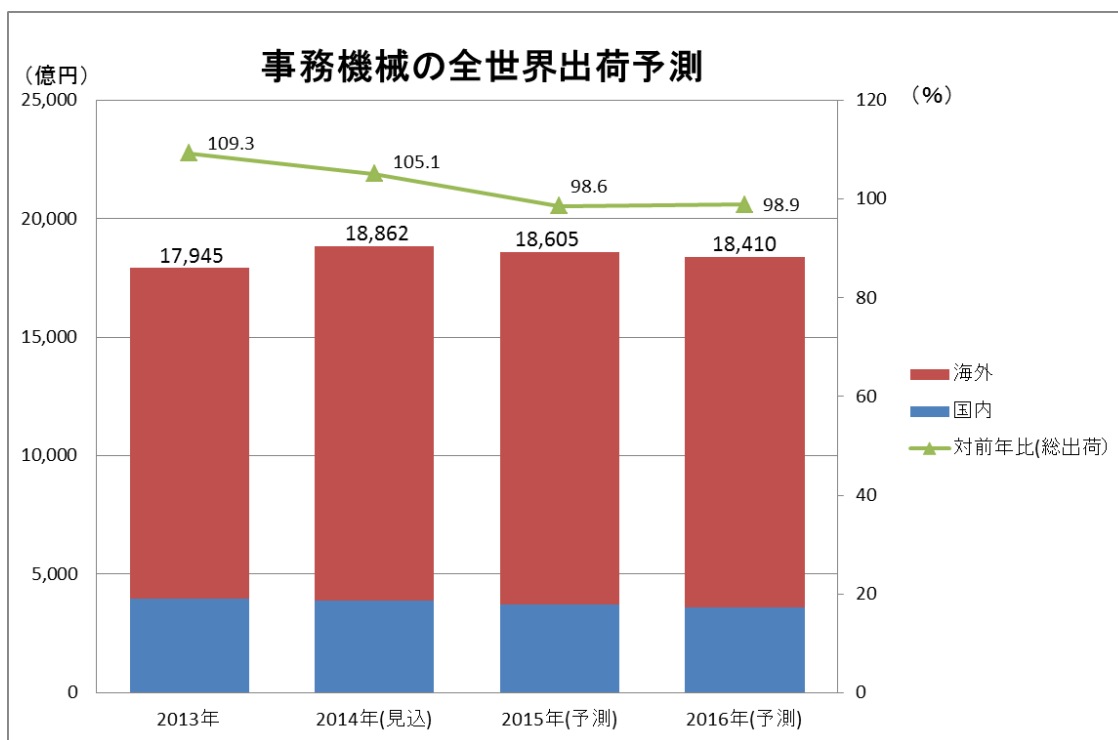
*「複写機・複合機」、「ページプリンター」、「MFP」の地域別予測における「その他」は中南米、中東、アフリカ、オセアニア。

*「電卓」には100円均一ショップ等で販売されている海外製の低価格製品は含まない。

*「ECR/POS」にはパソコンPOSは含まない。

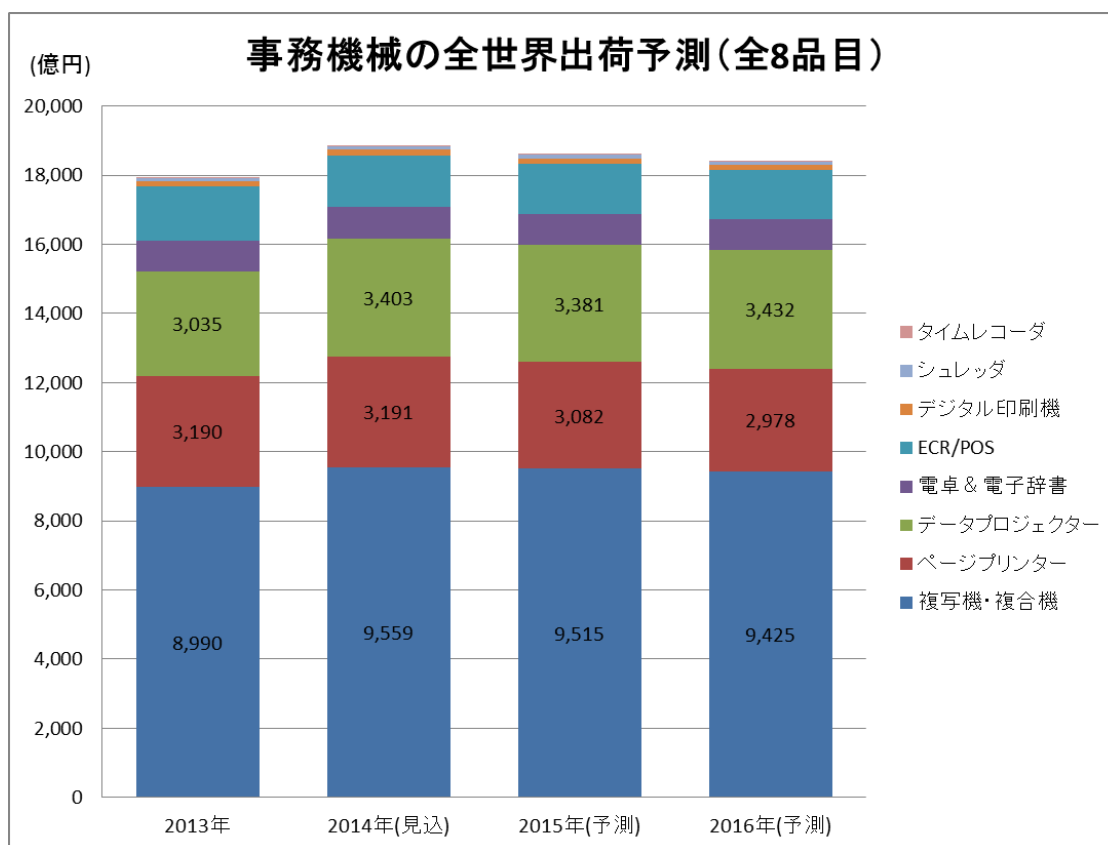
*「タイムレコーダ」はカード印字式タイプのみ。ICカード等を使ったシステムタイプおよびタイムスタンプ（機械式時刻記録機）は含まない。

1. 概況



単位: 億円

	2013年		2014年(見込)		2015年(予測)		2016年(予測)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
国 内	3,954	100.5%	3,870	97.9%	3,701	95.6%	3,579	96.7%
海 外	13,991	112.1%	14,993	107.2%	14,904	99.4%	14,830	99.5%
合 計	17,945	109.3%	18,862	105.1%	18,605	98.6%	18,410	98.9%



【2014 年】

事務機械全体の出荷金額は、円安の影響もあり、前年比 5.1%増の見込みとなった。

国内市場においては、緩やかな回復基調にある景気に加え、消費税率の変更に対応した新製品特需や駆け込み需要、さらに大型の入札案件により複数の品目で数量が増加した。しかし、金額全体に占める比率の大きい複写機・複合機が減少傾向で推移したため、トータルとして数量は増加、金額は減少の見込みとなった。

海外市場においては、欧州における景気停滞の長期化や中国の景気減速などマイナス要因があったものの、米国の景気回復基調が鮮明になってきたことや円安の進行が続いたこともあり、トータルの数量は微増、金額は増加の見込みとなった。

【2015 年以降】

国内市場においては、景気回復への期待感はあるものの、企業における事務機の導入は一巡しており、全般的には数量、金額とも減少傾向で推移していくとみられる。

海外市場においては、先進国は、好調な米国経済に加え、欧州も次第に持ち直していくことが期待されているが、先進国における事務機市場は更新需要が中心のため、その数量、金額は当面抑制的に推移していくとみられる。

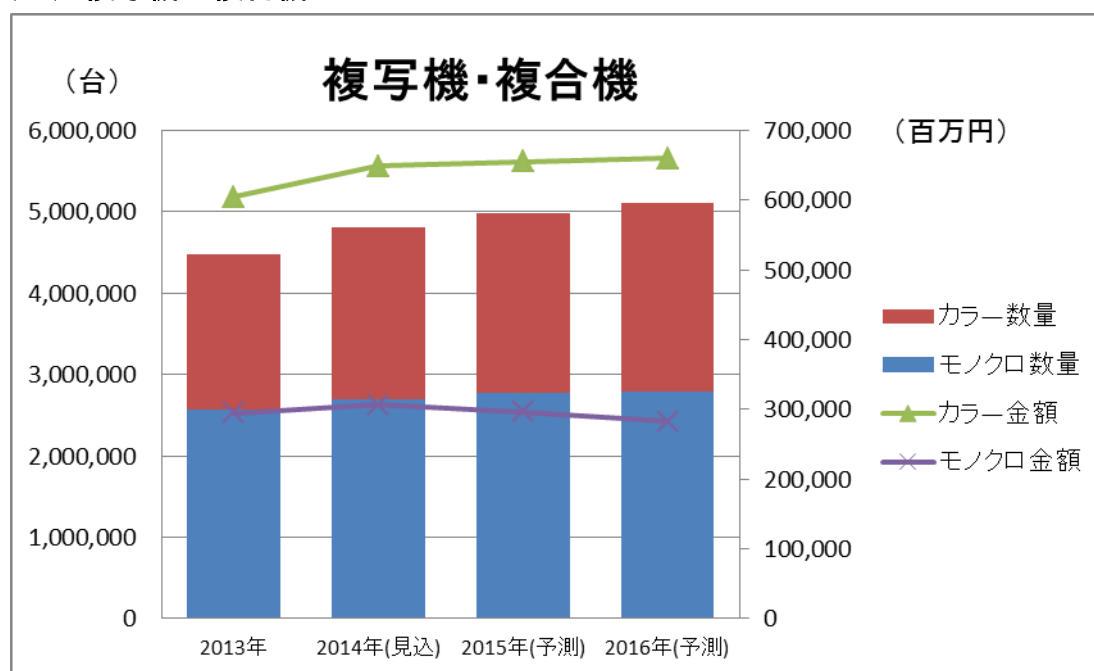
また、新興国においては、中国の景気減速と周辺国への影響、原油安に伴う景気減速

等が懸念されるが、当面は数量、金額とも増加していくとみられる。以上より、海外市場全体では、数量、金額とも横ばいから微減傾向で推移していくとみられる。

業界全体としては、機器本体に加えて、ソリューション販売、サービス・消耗品など周辺ビジネスへの展開が重要性を増してきている。クラウド環境の進展により各種ソフトウェアとの連携機能強化が進んでいく中で、市場拡大の要素が豊富にあり、継続的な発展が期待されている。

2. 品目別予測

(1) 複写機・複合機



【2014 年】

<国内市場>

- ・数量増加、金額減少の見込み。
- ・大幅な減少が続いていたモノクロ機が数量、金額ともほぼ横ばいとなった。
- ・カラー機の数量増加も続いており、カラー比率は 2014 年で約 77%まで高まる見込みである。

<海外市場>

- ・カラー機の出荷は先進国を中心に堅調に推移しており、モノクロ機もアジア・その他地域を中心に数量、金額とも増加の見込み。
- ・サイズ別では、A4 機のニーズが高まっており、各地域で増加している。

【2015 年以降】

<国内市場>

- ・ 景気回復による需要増加の期待もあるが、カラー機の出荷が一巡していることやリース期間の長期化傾向もみられるため、国内トータルでは、数量、金額とも徐々に減少していく。

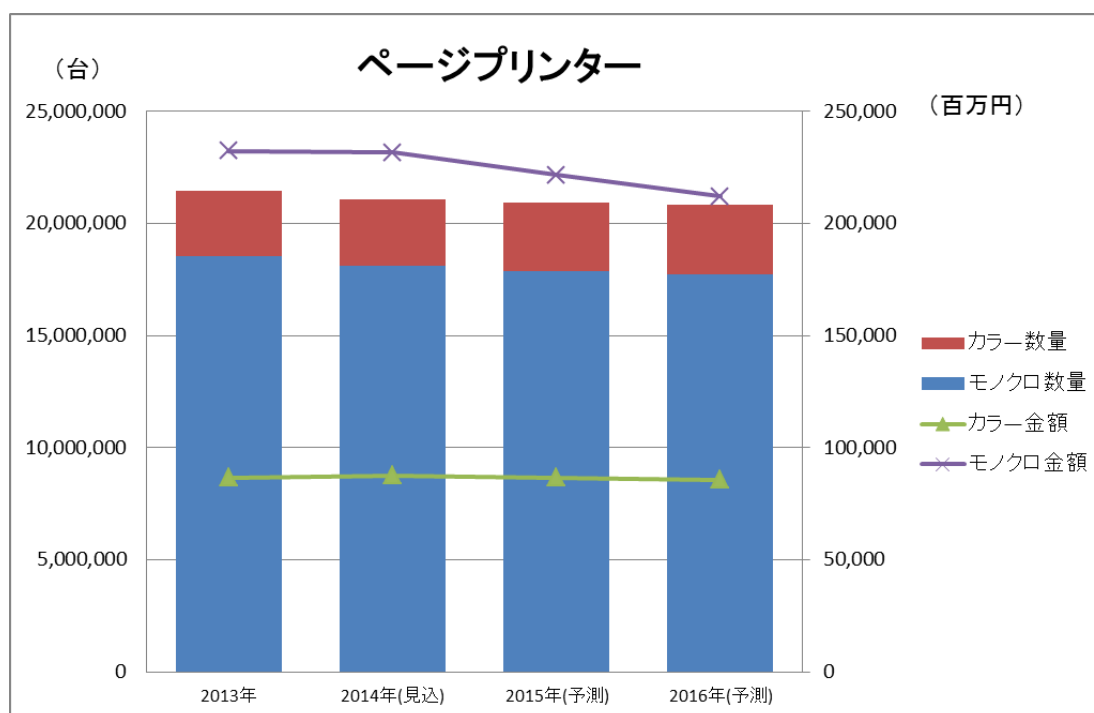
<海外市場>

- ・ 欧米市場は A4 機の数増加。
- ・ アジア・その他地域においては A3 機、A4 機とも数増加が期待されている。

【今後の動向】

- ・ 複写機・複合機業界全体としては、従来の消耗品の供給、機器の修理といった保守、サービスを超えた、ソリューションビジネスの販売拡大を各社が目指している。
- ・ 各社とも今後 2～3 年でソリューションビジネスを本格化させたいとしており、最新の複写機・複合機には各種アプリと親和性が高く、直観的操作が可能なタブレットやスマートフォンのような先進的ユーザーインターフェースを搭載し、クラウドとの連携強化も進めている。

(2) ページプリンター（単機能機）



【2014 年】

＜国内市場＞

- ・モノクロ機、カラー機ともに数量、金額とも増加の見込み。
- ・更新需要が中心で、かつ A3 複合機への集約や A4 複合機との入れ替えにより市場は縮小傾向にあるが、本年は大口の入札案件が複数重なったことで増加となった。

＜海外市場＞

- ・モノクロ機は数量、金額とも減少、カラー機は数量増加、金額横ばいの見込み。
- ・欧米においては、国内同様、A3 複合機への集約や A4 複合機との入れ替えが進んでいるが、アジア・その他地域においては複合機よりも安価な単機能ページプリンターの需要は根強い。

【2015 年以降】

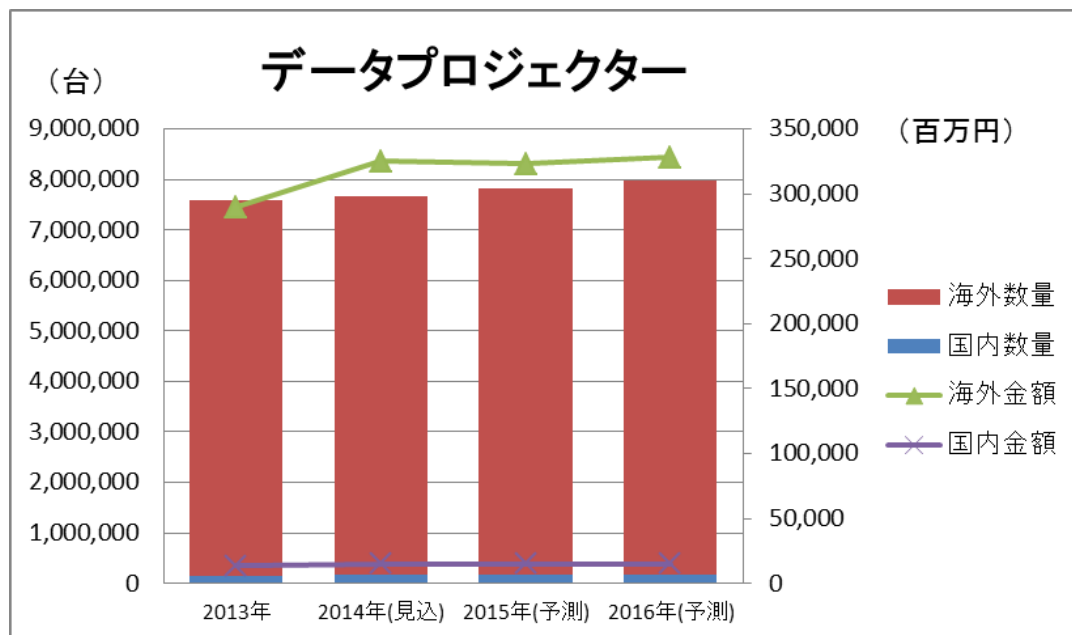
＜国内市場＞

- ・数量、金額とも減少が続く。
- ・ページプリンター全体に占めるカラー機の数量比率は 26%前後で頭打ちとなり、モノクロ機中心の出荷が続く。

＜海外市場＞

- ・欧米は、オフィスでの A3 複合機への集約が進んでいくため、数量、金額とも減少していく。
- ・アジア・その他地域においては、当面は数量の増加が続くが、新興国を多く含むため、より安価なインクジェット機をオフィスで使用する場合もあり、増加率は緩やかとなっていく。

(3) データプロジェクター



【2014 年】

<国内市場>

- ・数量、金額とも増加の見込み。
- ・景気回復への期待感に加え、超短焦点プロジェクターによる需要喚起もみられ、若干の増加となった。

<海外市場>

- ・数量微増、金額大幅増の見込み。
- ・景気好調の米国だけでなく、欧州や中国でも伸びており、世界的に堅調である。
- ・金額が大幅増となった要因としては、為替影響に加え、各社の高輝度（4,000～5,000ルーメン）の高価格品が好調で平均単価を押し上げたことが大きく影響した。
- ・サッカーワールドカップのパブリックビューイング向け特需も世界的にみられた。

【2015 年以降】

<国内市場>

- ・企業向けは大企業の会議室などで普及の余地が残っているが、中心は更新需要である。
- ・大型パネルなど他デバイスとの競合もあるため、ほぼ現状レベルから微増で推移していく。
- ・文教向けは、教育予算拡大による需要拡大が期待されている。

<海外市場>

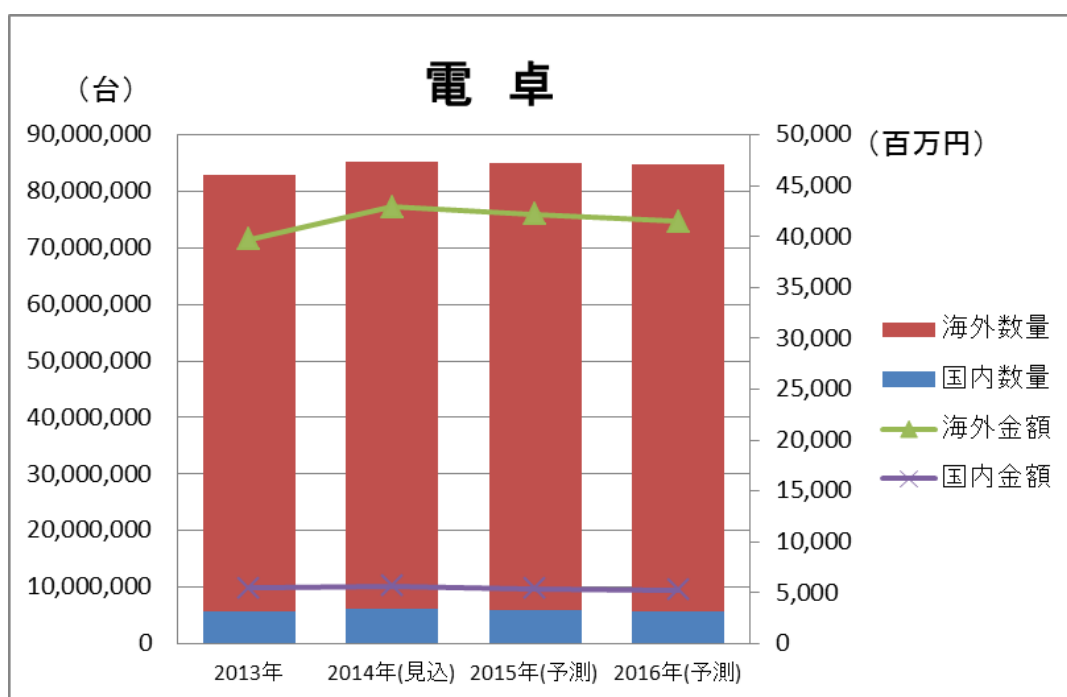
- ・欧米市場で景気回復を背景に現状並みの需要維持が期待されており、新興国市場の安定的な増加と併せて、数量は増加していく。
- ・さらなる高輝度（7,000～8,000 ルーメン）プロジェクターや 4K プロジェクターなどの製品化も予定されており、金額も現状レベルを維持していく。

【今後の動向】

- ・新たな技術としては、光源部にレーザーや LED の固体光源を採用する機種が立ち上がっている。今のところ一部の高級機種のみを搭載されているが、従来の水銀ランプに比べ、環境負荷の低減を期待できるため、注目されている。

（４）電卓&電子辞書

（４－１）電卓



【2014 年】

<国内市場>

- ・数量、金額とも増加の見込み。
- ・消費税率変更に対応した新製品の特需があったことが影響した。

<海外市場>

- ・数量、金額とも増加の見込み。
- ・新興国向けの出荷が堅調に推移したことに加え、為替影響も寄与した。

【2015 年以降】

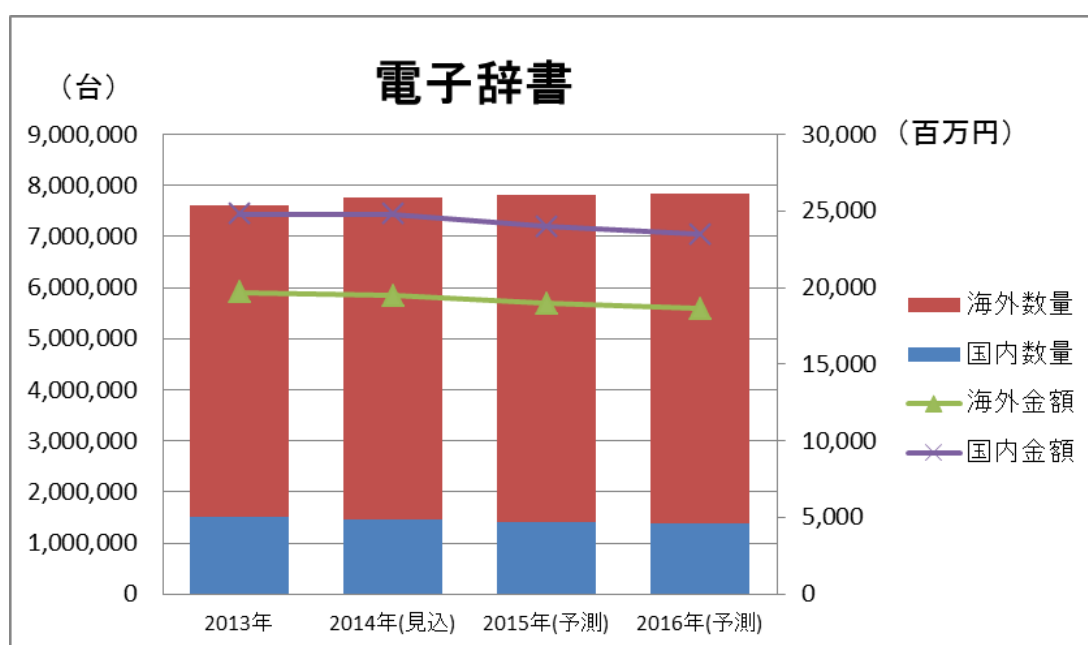
＜国内市場＞

- ・増加要因が少なく減少傾向で推移していくとみられるが、ビジネス向け機種での根強い需要が続く。

＜海外市場＞

- ・先進国市場は飽和しているが、新興国向けの数量増により、海外全体ではほぼ横ばいで推移すると予測される。
- ・主に米国で使用されているプリンター電卓や欧米の学生（大学生、高校生）向けの関数電卓は安定的な出荷が継続すると予測される。

（４－２）電子辞書



【2014 年】

＜国内市場＞

- ・数量減少、金額横ばいの見込み。
- ・数量は減少ながらも、その減少幅は小さくなり、スマートフォンやタブレットの普及によるビジネスマンの電子辞書離れに一区切りがついたとみられる。

＜海外市場＞

- ・数量増加、金額微減の見込み。
- ・中国や東南アジアなどの新興国やヨーロッパの一部などの市場が中心である。
- ・中国が世界最大の市場であるが、現地メーカーの販売量が圧倒的に多い。

【2015 年以降】

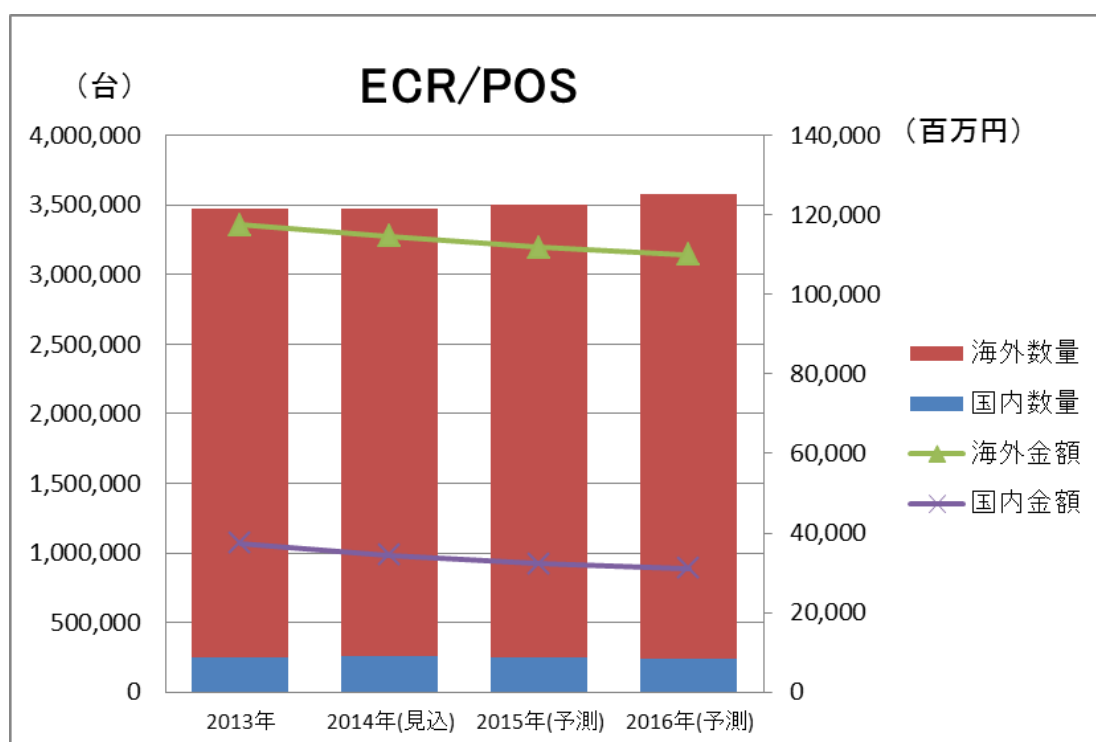
<国内市場>

- ・数量、金額ともに減少傾向で推移すると予測される。
- ・主な使用層である全国の高校生数は長期的には減少傾向にあるものの、ここ数年は数量減少に歯止めがかかりつつある。
- ・小学校における英語教育の開始を現行の 5 年生から 2020 年までには 3 年生に前倒しする方針が固まったため、低年齢層をターゲットにした電子辞書の販売もスタートしている。
- ・機能面では、コンテンツの拡張機能などが搭載され、対応コンテンツも年々充実してきている。

<海外市場>

- ・海外の現地メーカーの製品を中心に数量は増加、金額は減少で推移すると予測される。
- ・日本メーカーは現地メーカーにはない高機能を求めるユーザーニーズを取り込むことで、一定の需要を確保していく。

(5) ECR/POS



【2014 年】

＜国内市場＞

- ・数量横ばい、金額減少の見込み。
- ・消費税引き上げ前後の 1 月から 4 月にかけては大幅増で推移したが、5 月以降にその反動で減少した。

＜海外市場＞

- ・数量、金額とも減少の見込み。
- ・先進国は更新需要が中心のため数量、金額とも増加要因は少ない。
- ・新興国は成長市場であるが、パソコン POS が主流のため、据え置きタイプの ECR/POS は増えていない。

(注) パソコン POS : パソコンに POS 周辺機器 (キャッシュドロー等) をセットした簡便な機器

【2015 年以降】

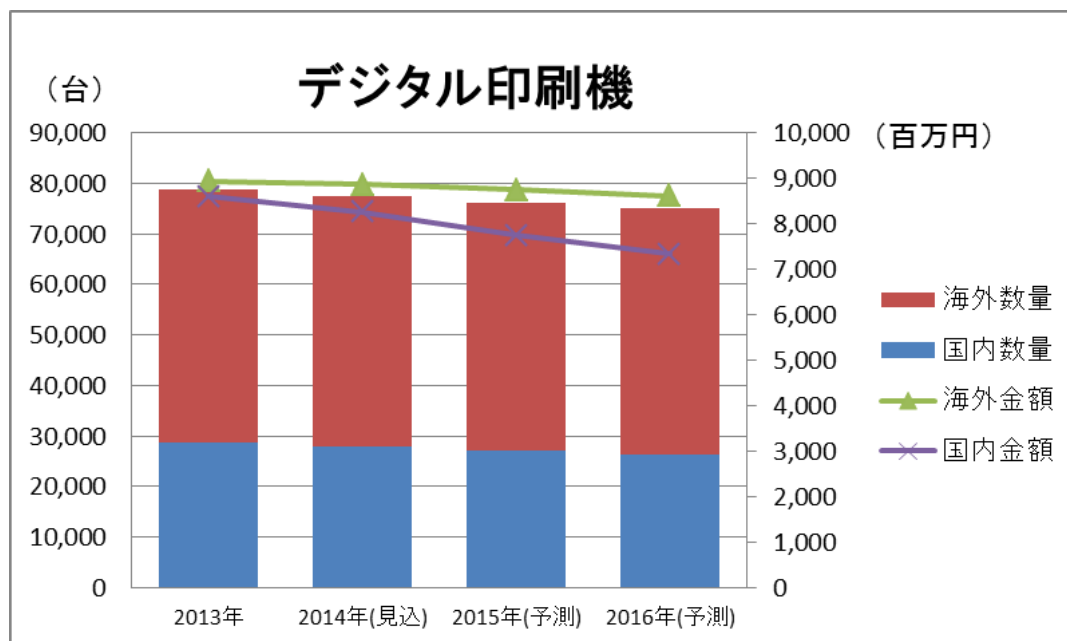
＜国内市場＞

- ・数量、金額とも減少傾向で推移すると予測される。
- ・飲食店や家電量販店などの店舗数が減少傾向で推移していることに加え、今後は通信販売や宅配サービスが増加していくことが予測され、店舗設置型の ECR/POS の需要は減少していく。

＜海外市場＞

- ・数量微増、金額減少で推移すると予測される。
- ・欧州や東南アジアの一部で 2015 年から 2016 年にかけては税制改革による需要増が期待されているため数量増加が見込まれている。

（６）デジタル印刷機



【2014 年】

<国内市場>

- ・数量、金額とも減少の見込み。
- ・学校、自治体の更新需要はコンスタントにあるため減少率は比較的緩やかである。

<海外市場>

- ・数量、金額ともに微減の見込み。
- ・更新サイクルは長期化しているが、新規需要もあるため数量は微減にとどまっている。

【2015 年以降】

<国内市場>

- ・数量、金額とも減少傾向で推移すると予測される。

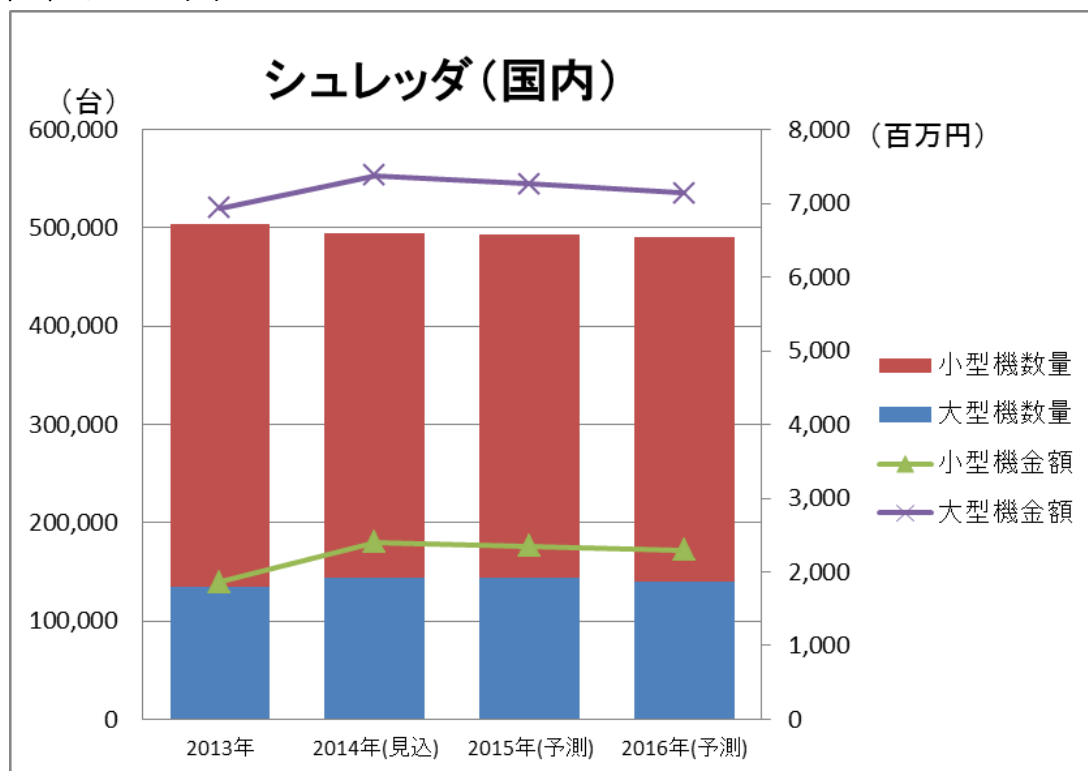
<海外市場>

- ・数量は微減、金額は減少傾向で推移すると予測される。

【今後の動向】

- ・高速機、両面印刷、2色機などの製品により学校、自治体向けの更新需要を喚起していく。

(7) シュレッダ



【2014 年】

<国内市場>

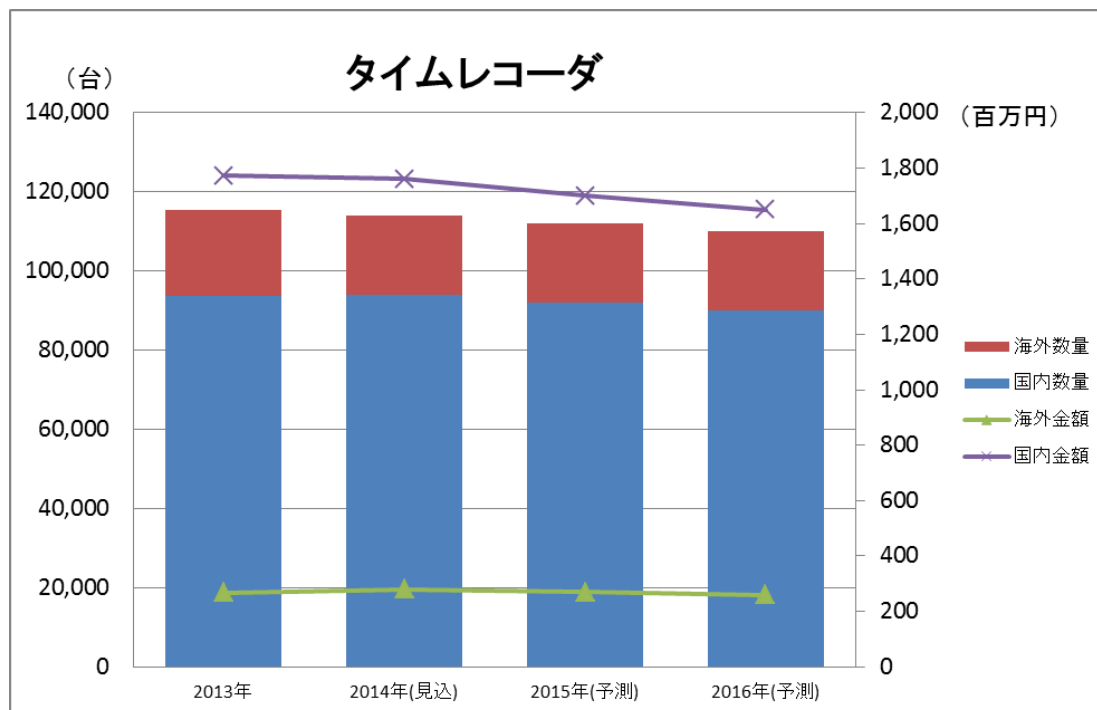
- ・大型機は数量、金額とも増加、小型機は数量減少、金額増加の見込み。
- ・大型機、小型機とも更新需要が中心。大型機は前年の反動による増加、小型機はここ数年底堅い需要が続いていたが勢いが鈍化した。

【2015 年以降】

<国内市場>

- ・大型機はほぼ横ばいから緩やかな減少、小型機は横ばいから微減傾向で推移するとみられる。
- ・大型機は、更新期間が長期化していることや都心周辺を中心に機密文書の回収サービスがビジネスとして浸透してきている。
- ・小型機は、大型機同様、ビジネス用はほぼ一巡している。

(8) タイムレコーダ



【2014 年】

<国内市場>

- ・数量ほぼ横ばい、金額微減の見込み。
- ・中小規模の事業所におけるカード印字式タイムレコーダの需要は根強い。

<海外市場>

- ・数量減少、金額増加の見込み。
- ・海外市場は現地メーカーのシェアが高く、会員メーカーの数量は減少が続いている。
- ・金額は、為替影響により増加している。

【2015 年以降】

<国内市場>

- ・数量、金額とも微減傾向で推移する。
- ・大規模事業所を中心に IC カード等を使ったシステムタイプの勤怠管理が主流になりつつある。

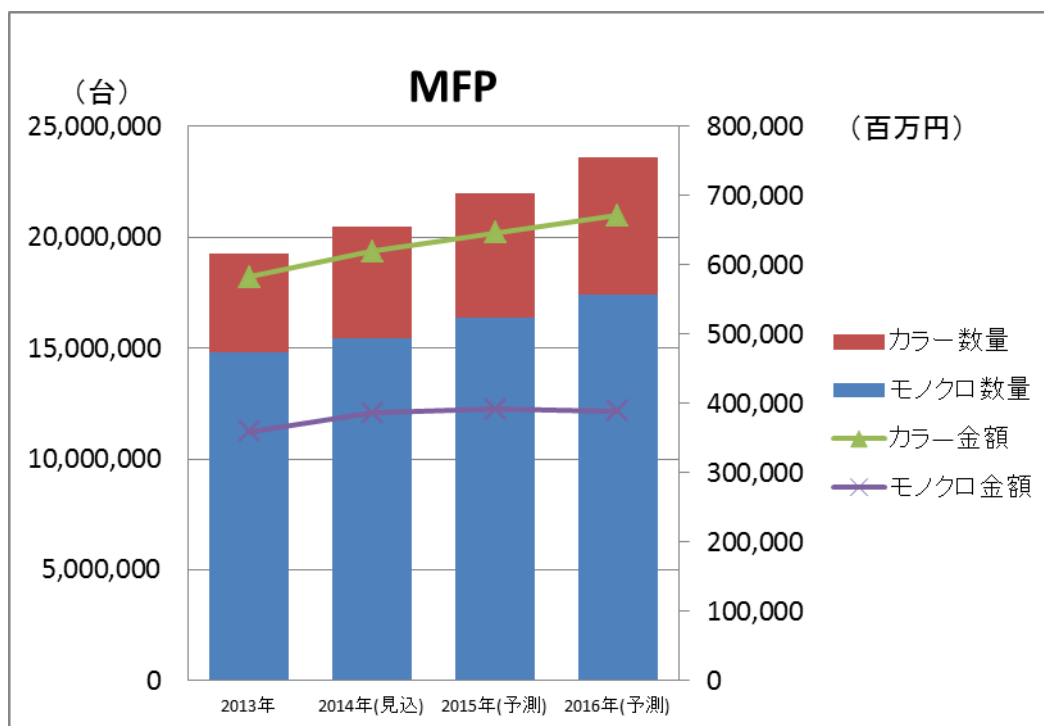
<海外市場>

- ・数量横ばい、金額減少で推移していく。
- ・欧米（特に北米）の勤労管理はタイムスタンプ（機械式時刻記録機）方式が主流

- であり、カード印字式タイムレコーダの市場規模は小さい。
- ・中国市場でも IC カード方式を採用する場合が増えてきている。

3. 参考

(1) MFP



【2014 年】

<国内市場>

- ・数量微増、金額微減の見込み。

<海外市場>

- ・海外市場は数量、金額とも大幅増加の見込み。
- ・海外市場を中心に A4MFP の出荷が増加傾向にある。
- ・プリンターメーカーによる低価格の A4MFP が新興国を中心に拡大するのに加え、A3MFP と同様のコントローラーを搭載した高機能 A4MFP の需要も先進国において高まっており、各社がラインアップを拡充している。

【2015 年以降】

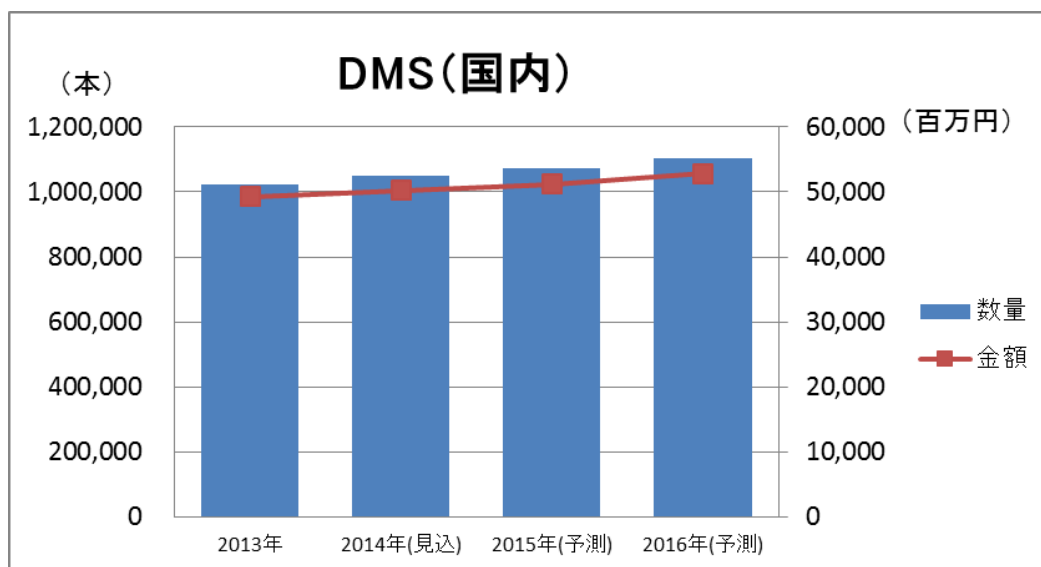
<国内市場>

- ・数量ほぼ横ばい、金額微減で推移していく。

<海外市場>

- ・数量、金額とも増加が続く。
- ・アジア・その他地域における低価格ニーズに対応する A4MFP の拡大に加え、低価格 A3MFP も立ち上がり始めており、新興国における A3MFP 拡大が期待される。

(2) DMS (Document Management System)



【2014 年】

- ・数量、金額ともに微増となる見込み。
- ・一部の大手企業においては企業内のドキュメント管理基盤の統合が行われつつあるものの、その動きは限定的となっている。
- ・中堅・中小企業でも IT 投資は戻りつつあるものの、ドキュメント管理に対しての投資は未だ優先度が低い状態にある。そのため、2013 年と比較しても状況に大きな変化は表れていない。

【2015 年以降】

- ・数量、金額ともに微増で推移していくと予測される。
- ・業務プロセスの見直しを図り、紙のドキュメントで行われている業務を DMS やワークフローシステムなどを導入し改善していくことにより、市場拡大が期待される。
- ・法規制の面では、e-文書法の要件緩和による効果が期待され、対応する企業が増加すれば、DMS 市場を拡大させる要因になる。

*調査会社：(株)データ・サプライ（全８品目、参考 MFP）
(株)テクノ・システム・リサーチ（DMS）

以上

本件に関するお問い合わせ先：
一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
統計委員会事務局 岡野聖史
広報担当 横森 聡、冠野博信
(TEL：03-6809-5010、FAX：03-3451-1770)

事務機械の「全世界出荷に関する2014年の見込及び2015～2016年予測」

単位：百万円、台、％

品目			平成26(2014)年見込				平成27(2015)年予測				平成28(2016)年予測			
			金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比
複写機・複合機	モノクロ複写機・複合機	国内	43,730	98.0%	136,000	99.8%	38,030	87.0%	120,200	88.4%	34,230	90.0%	109,700	91.3%
		海外	262,900	105.3%	2,566,400	105.3%	258,300	98.3%	2,648,100	103.2%	248,300	96.1%	2,683,100	101.3%
		合計	306,630	104.2%	2,702,400	105.0%	296,330	96.6%	2,768,300	102.4%	282,530	95.3%	2,792,800	100.9%
	カラー複写機・複合機	国内	210,600	96.0%	459,400	102.6%	206,500	98.1%	466,000	101.4%	202,300	98.0%	471,400	101.2%
		海外	438,700	113.9%	1,643,700	112.6%	448,650	102.3%	1,752,850	106.6%	457,700	102.0%	1,852,300	105.7%
		合計	649,300	107.4%	2,103,100	110.3%	655,150	100.9%	2,218,850	105.5%	660,000	100.7%	2,323,700	104.7%
ページプリンター	モノクロ機	国内	20,630	103.6%			18,620	90.3%			17,510	94.0%		
		海外	211,000	99.3%			203,000	96.2%			194,500	95.8%		
		合計	231,630	99.7%	18,099,700	97.7%	221,620	95.7%	17,862,900	98.7%	212,010	95.7%	17,708,300	99.1%
	カラー機	国内	12,010	108.1%			11,110	92.5%			10,310	92.8%		
		海外	75,500	100.0%			75,500	100.0%			75,500	100.0%		
		合計	87,510	101.1%	2,981,300	102.6%	86,610	99.0%	3,037,700	101.9%	85,810	99.1%	3,104,200	102.2%
データプロジェクター	合計	国内	32,640	105.2%			29,730	91.1%			27,820	93.6%		
		海外	286,500	99.5%			278,500	97.2%			270,000	96.9%		
		合計	319,140	100.0%	21,081,000	98.4%	308,230	96.6%	20,900,600	99.1%	297,820	96.6%	20,812,500	99.6%
	合計	国内	15,260	113.8%	163,000	103.3%	15,050	98.6%	164,800	101.1%	15,240	101.3%	166,600	101.1%
		海外	325,000	112.0%	7,497,300	101.0%	323,000	99.4%	7,651,000	102.1%	328,000	101.5%	7,802,000	102.0%
		合計	340,260	112.1%	7,660,300	101.0%	338,050	99.4%	7,815,800	102.0%	343,240	101.5%	7,968,600	102.0%
電卓 & 電子辞書	電卓	国内	5,630	103.0%	6,065,000	105.0%	5,400	95.9%	5,900,000	97.3%	5,280	97.8%	5,780,000	98.0%
		海外	42,900	108.0%	79,080,000	102.6%	42,200	98.4%	79,000,000	99.9%	41,500	98.3%	79,000,000	100.0%
		合計	48,530	107.4%	85,145,000	102.7%	47,600	98.1%	84,900,000	99.7%	46,780	98.3%	84,780,000	99.9%
	電子辞書	国内	24,820	100.0%	1,450,000	96.0%	24,000	96.7%	1,405,000	96.9%	23,500	97.9%	1,380,000	98.2%
		海外	19,500	99.0%	6,312,300	103.5%	18,980	97.3%	6,410,000	101.5%	18,650	98.3%	6,458,000	100.7%
		合計	44,320	99.6%	7,762,300	102.0%	42,980	97.0%	7,815,000	100.7%	42,150	98.1%	7,838,000	100.3%
ECR/POS	合計	国内	30,450	100.5%	7,515,000	103.1%	29,400	96.6%	7,305,000	97.2%	28,780	97.9%	7,160,000	98.0%
		海外	62,400	105.0%	85,392,300	102.6%	61,180	98.0%	85,410,000	100.0%	60,150	98.3%	85,458,000	100.1%
		合計	92,850	103.5%	92,907,300	102.7%	90,580	97.6%	92,715,000	99.8%	88,930	98.2%	92,618,000	99.9%
	合計	国内	34,500	92.2%	254,000	100.7%	32,300	93.6%	249,000	98.0%	31,150	96.4%	244,000	98.0%
		海外	114,600	97.6%	3,217,700	99.8%	111,800	97.6%	3,250,000	101.0%	110,000	98.4%	3,330,000	102.5%
		合計	149,100	96.3%	3,471,700	99.8%	144,100	96.6%	3,499,000	100.8%	141,150	98.0%	3,574,000	102.1%
デジタル印刷機	合計	国内	8,260	96.0%	27,885	96.9%	7,750	93.8%	27,040	97.0%	7,338	94.7%	26,250	97.1%
		海外	8,870	99.2%	49,600	99.4%	8,745	98.6%	49,200	99.2%	8,610	98.5%	48,900	99.4%
		合計	17,130	97.7%	77,485	98.5%	16,495	96.3%	76,240	98.4%	15,948	96.7%	75,150	98.6%
シュレツダ	大型機	国内	7,380	106.4%	144,500	107.4%	7,260	98.4%	143,500	99.3%	7,140	98.3%	140,000	97.6%
	小型機	国内	2,400	128.8%	350,000	94.9%	2,350	97.9%	350,000	100.0%	2,300	97.9%	350,000	100.0%
	合計	国内	9,780	111.1%	494,500	98.2%	9,610	98.3%	493,500	99.8%	9,440	98.2%	490,000	99.3%
タイムレコーダ	合計	国内	1,760	99.3%	94,000	100.3%	1,700	96.6%	92,000	97.9%	1,650	97.1%	90,000	97.8%
		海外	280	104.5%	20,000	92.1%	270	96.4%	20,000	100.0%	260	96.3%	20,000	100.0%
		合計	2,040	100.0%	114,000	98.7%	1,970	96.6%	112,000	98.2%	1,910	97.0%	110,000	98.2%
総合計	合計	国内	386,980	97.9%			370,070	95.6%			357,948	96.7%		
		海外	1,499,250	107.2%			1,490,445	99.4%			1,483,020	99.5%		
		合計	1,886,230	105.1%			1,860,515	98.6%			1,840,968	98.9%		

【参考1】

単位：百万円、台、％

品目			平成26(2014)年見込				平成27(2015)年予測				平成28(2016)年予測			
			金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比
MFP	モノクロ機	国内	33,400	98.4%			32,400	97.0%			31,400	96.9%		
		海外	353,000	108.4%			359,000	101.7%			358,000	99.7%		
		合計	386,400	107.4%	15,433,300	104.1%	391,400	101.3%	16,398,400	106.3%	389,400	99.5%	17,403,200	106.1%
	カラー機	国内	203,000	100.0%			202,000	99.5%			201,000	99.5%		
		海外	416,500	109.6%			444,800	106.8%			471,000	105.9%		
		合計	619,500	106.3%	5,063,700	113.6%	646,800	104.4%	5,610,900	110.8%	672,000	103.9%	6,184,800	110.2%
合計	合計	国内	236,400	99.8%			234,400	99.2%			232,400	99.1%		
		海外	769,500	109.1%			803,800	104.5%			829,000	103.1%		
		合計	1,005,900	106.7%	20,497,000	106.3%	1,038,200	103.2%	22,009,300	107.4%	1,061,400	102.2%	23,588,000	107.2%

※JBMAIにおけるMFPとは、PC(ネットワーク)接続を前提とした電子写真方式のプリンタ機能を標準で装備し、更にコピーかスキャナかファクシミリのいずれか1つ以上の機能を標準装備している製品である。

【参考2】

単位：百万円、本、％

品目			平成26(2014)年見込				平成27(2015)年予測				平成28(2016)年予測			
			金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比
DMS			50,241	101.9%	1,049,351	102.5%	51,211	101.9%	1,071,724	102.1%	52,779	103.1%	1,104,470	103.1%

※ドキュメントマネージメントシステム(DMS)には、ドキュメントマネージメントにかかわるソフトウェア製品であり、ハードウェアや役務を含まない。